

令和9年度 認定こども園概要（令和8年10月1日の照会に基づく）

認定こども園名称		ぽっかぽか紬こども園			
ホームページ		https://pokkapokatsumugi.com/			
所在地・問合せ先		〒983-0838 仙台市宮城野区二の森14－65 TEL: 022-353-9611			

特別支援教育・保育			受入れの可否		可	
			方 針		・面談及び専門家の意見等により受入れを判断します。 ・集団での保育が可能な場合は基本的に受け入れています。	
保育料等費用	無償化対象	保育料(月額)	1号認定児は満3歳児から、2号認定児は3歳児クラスから、全額無償となります。また、3号認定児は市町村民税非課税世帯、生活保護世帯、里親世帯、第2子以降の児童の場合、全額無償となります。			
	無償化対象外(※1)	入園時に必要な費用	マットカバー購入費		2500 円	
					円	
					円	
		その他月額費用	給食費(主食費1000円、副食費6500円)		月額7500 円	
			施設協力費		月額1000 円	
			マット管理費		月額800 円	
					円	
	その他費用			円		
		親子参加行事での参加費(大人分)		800円程度 円		
				円		
預かり保育(1号認定)	早朝預かり	実施日・時間・1日の預かり人数上限		月～金 7:30～8:30		
		料 金(※2)		月額1,000円		
	通常日預かり	実施日・時間・1日の預かり人数上限		月～金 16:30～18:30 月～金 16:30～19:30		
		料 金(※2)		16:30～18:30 月額3,000円/16:30～19:30 月額5,000円		
	休業日預かり	実施日・時間・1日の預かり人数上限		無し		
		料 金(※2)		無し		
	実施しない日		日曜日、祝日、年末年始(12/29～1/3)			
	新入園児の入園式前の利用(4月1日から)	基本的に受け入れ可能です				
	卒園児の卒園式後の利用(3月末まで)	基本的に対応可能です。				
延長保育(2・3号認定)		実施日・時間・料金 受入可能年齢/月齢		月曜日～金曜日 18:30～19:30 月額3,000円		
◆◆保育料等の無償化について◆◆ 以下は制度に関する一般的な説明であり、当園における実施内容を示すものではありません。 ※1 実費として徴収される費用(通園送迎費、食材料費、行事費等)は、無償化の対象になりません。 ただし、年収360万円未満相当の世帯の児童と第3子以降の児童は、3歳児クラスから副食(おかず、おやつ等)費用の減免制度があります。 ※2 1号認定児の預かり保育の利用料は、施設等利用給付認定(新2号・新3号)又は多子世帯利用給付認定を受けた児童を対象に、利用日数に応じて日額490円(3～5歳児クラスは月額上限12,300円、満3歳児は月額上限17,700円)まで無償となります。 なお、2・3号認定児の延長保育料は、無償化の対象外です。 詳細は、仙台市ホームページをご覧ください。 「幼児教育・保育の無償化について」 https://www.city.sendai.jp/nintechosa/mushouka_gaiyou.html 「第2子以降の保育料無償化について」 https://www.city.sendai.jp/nintechosa/kurashi/kenkotofukushi/kosodate/hoikuryo_r08.html						

児童の安全確保に向けた取り組み	・当園で実施する行事等について、地域の方々へお知らせし、当園への関心を高めてもらっている。 ・基本的には隣にある与兵衛沼公園での森遊びが活動の中心なので、森中での事故等に対応出来るよう専門的な知識のある方の講習を実施している。 ・避難訓練を月1回、不審者訓練を年2回実施している。					
卒園児の通う主な小学校	枅江小学校、小松島小学校、西山小学校、岩切小学校、幸町小学校、鶴ヶ谷小学校					
職員の状況	施設長	1名	保育教諭	10名	保健師・看護師	1名
	栄養士	2名	調理員・用務員	2名	事務員	1名
	バス運転手	1名	清掃員		合計	18名
乳児保育事業	実施の有無	無し				
	乳児受入月齢					
	乳児保育に関する特記事項					
園庭遊具	無し 隣の与兵衛沼公園が代替え園庭になっていますので、森遊びが中心の園生活です。					
その他 (特色等)	・当園では、森遊びを通して子どもたちの「やりたい！」という気持ちを大切に、最大限に叶えられる環境づくりをしています。自然の中で自由に選び、発見や挑戦を繰り返すことで、子どもたちは主体性や想像力を育んでいます。森の中では季節や天候に応じて遊び方も無限に広がり、子どもたちひとり一人の個性が豊に育まれて行きます。 ・園生活では、異年齢の子どもたちが共に過ごす環境を大切にしています。この環境では、年齢の違う子どもたちが互いに認め合い、自然に協力する力や思いやりの心が育まれています。					